

# 九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.  
**118**  
2020 Apr.

九州大学へようこそ!

## Leap into the Next

令和2年度新入生歓迎

総長・学部長からのメッセージ

特集 [総長対談]

吉野彰 名誉教授 ノーベル化学賞受賞記念

### 未来を拓く、次代を創る。

九州大学 名誉教授 九州大学 総長  
吉野 彰 × 久保 千春



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学広報室  
TEL:092-802-2130  
E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会  
TEL:092-802-5968  
E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会  
TEL:092-802-2158  
E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、  
封筒記載の連絡先へお願いします。

## CONTENTS

	02	新入生に贈る総長からのメッセージ
	03	令和2年度 新入生歓迎 学部長からのメッセージ
特集 [ 総長対談 ]	07	吉野彰 栄誉教授ノーベル化学賞受賞記念 スペシャル対談 <b>「未来を拓く、 次代を創る。」</b> 九州大学 栄誉教授 九州大学 総長 吉野 彰 × 久保 千春
[ Close Up! 九大 ]	11	九州大学エネルギーウィーク2020を 開催!
記者会見レポート	13	●「みんなの大学」「九州オープンユニバーシティ」会員募集 ●芸術工学部女子学生4人が地元企業と開発したノートが 福岡デザインアワード入賞、大手雑貨店など40店で販売へ ●「庚寅銘大刀」の復元品九州大学に常設展示へ ●九州大学で開発した眼科手術補助薬が米国FDAで薬事承認
広報室学生スタッフ紹介	17	学生が発信する九大の今!
KYUDAI Topics	18	さまざまな話題をご紹介します / 受賞のお知らせ
九州大学基金 37	23	
同窓会だより	26	
Museum Report	29	「鉄を求めて」(工学部列品室探鉱・冶金学コレクション)
Information	30	●令和2年度 開学記念行事を開催 ●九州大学アカデミックフェスティバル2020のお知らせ

# 九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.118 / 2020 Apr.

■編集・発行:九州大学広報室 〒819-0395福岡市西区元岡744  
■TEL:092-802-2130 FAX:092-802-2139  
■E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp  
■Webサイト:https://www.kyushu-u.ac.jp/  
■印刷:凸版印刷株式会社  
■編集協力・取材:永井直美  
■撮影:スタジオ サラ  
■デザイン:株式会社ライトブレイン

◎お読みになってのご感想やご意見をお待ちしています。  
◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報室までご連絡願います。  
◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。  
◎次号は、2020年7月発行予定です。

# 新入生に贈る4つのC Change・Challenge・ Creation・Collaboration

九州大学総長 久保 千春(専門分野:心身医学、アレルギー学)

新入生の皆さん、入学おめでとうござい  
ます。  
皆さんのこれまでの努力が実り、九州大  
学の一員になられたことを、本学を代表して  
心から歓迎します。また、新しく九大生と  
なられた皆さんを、今日までしっかりと支え  
ていただいたご家族や関係者の方々に、心か  
らお慶び申し上げます。

2005年にスタートした伊都キャンパス  
への移転事業は、13年かけて2018年9  
月に完了しました。東西3km、南北2.5km  
の広大なキャンパスは、現在、教職員約2万  
人が集う一大教育研究拠点となっています。  
伊都キャンパスを核として、九州大学は常に  
様々な課題に挑戦し、未来に向けて躍進し  
続けることを宣言しています。病院、大橋、  
筑紫のキャンパスにおいても、それぞれ特色  
ある教育研究活動が展開されています。皆  
さんには、これらの恵まれた教育研究施設・  
設備等を十分に活用して、充実した学生生  
活を送ってもらうことを願っています。

九州大学の学生は、将来、さまざまな分野  
において指導的な役割を果たし、日本および  
世界の発展に貢献することを期待されてい  
ます。九州大学では、グローバル化の進展を

見据え国際化に取り組んでおり、多くの留  
学生を受け入れているほか、皆さんが海外で  
学べるプログラムも多数用意しています。

また、皆さんがこれから学ぶ「基幹教育」  
では、低年次の全ての学生がさまざまな学び  
の機会を通じて、幅広い知識や視野を育成  
すると同時に、生涯にわたって自律的に学び  
続けるアクティブラーナーとしての「学び方  
を学び」、「考え方を学ぶ」ための姿勢と態度  
(基幹)を修得してもらいます。基幹教育を  
通じて柔軟な思考を習得し、より成長した  
自分に変化(Change)してください。

皆さんには、失敗を恐れず様々な課題に果  
敢に挑戦(Challenge)してもらいたい。そし  
て、自分の夢をしっかり持ち、新しい価値を  
創造(Creation)するようしてください。ま  
た、異なる文化や価値観を持つ海外の人や、  
課外活動、ボランティア活動や趣味を通じて  
出会う多くの人と協力(Collaboration)す  
ることも大切にしてください。

九州大学のキャッチコピーは「世界へ飛躍す  
る九大新世紀「Leap into the Next」です。  
4つのCの精神で、将来グローバルに活躍し、  
新しい時代を切り拓くリーダーとなるための  
基盤づくりに邁進されることを期待します。

共創学部長



鑄木 政彦  
かぶらぎ まさひこ

【専門分野】  
政治思想史

想像を超えた  
自分を目指して

新入生の皆さん、共創学部へようこそ。共創学部の教職員一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

共創学部は、学生が取り組むべき課題を自ら設定し、そのために必要な学問を学んで、課題解決を構想していく、新しい学部です。自分の課題を追究する学びはある意味自由ですが、決して容易ではありません。取り組むべき課題とは何か、そのために何を学べばよいのか、焦点を絞るのは難しく、思い悩んでしまうかもしれません。

しかし、皆さんの周りには、様々な経験と知識を持つ教員、全国各地から志を持って集まった同輩先輩がいます。是非たくさん話をしてみてください。そこから自分の進むべき道のヒントが得られるでしょう。そして、自分の興味に従って、様々な学問に触れていってください。それらを踏み越えていった先で、きっと想像を超えた自分に出会えることと思います。

共創学部は今年が発足3年目、いわば学部創成期です。この貴重な時期を皆さんとともに過ごせることを喜びたいと思います。この新しい学部を、共に創っていきましょう。

文学部長



清水 和裕  
しみず かずひろ

【専門分野】  
初期イスラーム史

文学部での挑戦

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの4年間、皆さんが実りの多い大学生活を送られることを期待しております。

皆さんを迎える文学部は、人間の存在そのものや、人間が生み出した社会と文化について、深く学び、研究をしていく場です。具体的には、哲学、歴史学、文学、人間科学の分野にまたがる21の講座が、皆さんを待っています。人類が様々な課題を抱える中で、自分はどう生きるか、なぜ自分たちはここにいるのか、そういった根源的な問いと向かい合ってください。それができる場所が、文学部です。

同時に、狭い分野にとどまらず広い問題関心をもち、多様な学問とも触れてほしいと思います。そのために文学部では他学部と連携した「文系4学部副専攻プログラム」を用意し、また「人社会協働研究・教育コモンズ」を設置しています。ぜひ新たな自分にチャレンジしてください。

法学部長



熊野 直樹  
くまの なおき

【専門分野】  
政治史

本物を見分ける目を  
養ってください

新入生の皆さん、ようこそ法学部へ。法学部の教職員一同を代表して、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

法学部は1924年に九州帝国大学法学部として創設され、1949年に法学部として独立しました。この間、多くの優れた卒業生を実業界、官界、法曹界、学界などに送り出し、全国的な評価を得ております。

皆さんがこれから学ぶ法学・政治学は、社会の規範や動態を主たる学問対象として見分ける目を養ってください。そのため法学部には様々な選択肢が開かれています。その一つとして2018年度に「文系4学部副専攻プログラム」が開設され、自分の将来設計に従って科目を学部横断的に履修できます。また研究面でも「人社会協働研究・教育コモンズ」が設置され、学際的な研究教育体制がより充実しました。こうした選択肢を積極的に活用し、法学部での学生生活がより充実したものになります。ようこそ、心より歓迎いたします。

経済学部長



岩田 健治  
いわた けんじ

【専門分野】  
国際金融論・EU経済論

新キャンパスに新プログラム  
—経済学部へようこそ—

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。九州大学経済学部の教職員学生とともに、皆さんを心より歓迎いたします。

経済学部は、経済学のツールを用いて現代社会の諸問題を的確に把握し、解決策を提示できる人材の育成を目指しています。創設100周年を4年後に控え、箱崎キャンパスから豊かな自然に囲まれた伊都キャンパスに移転すると同時に、新しい二つのプログラムを立ち上げました。一つは、英語を駆使しグローバルな視点から経済諸事象を分析する力を養う「Global（経済学部グローバル・ディプロマプログラム）」です。もう一つは、人文・社会科学の知見を駆使して現代の複雑な諸問題を解決する力を養う「文系4学部副専攻プログラム」です。文系4学部は研究面でも「人社会協働研究・教育コモンズ」を通じて学際的課題への挑戦を開始しています。

こうしたプログラムを積極的に活用し、次世代の代表としての誇りをもってグローバル経済が直面する諸課題に積極果敢に挑戦していただきたいと思えます。

教育学部長



竹熊 尚夫  
たけくま ひさお

【専門分野】  
比較教育学

社会的人間の成長を  
考える教育学部へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教育学部の教職員・学生一同、皆さんを心から歓迎いたします。教育学部は人が育ち、人を育てる過程における様々な事象を多様な研究分野から専門的・学際的に研究する学部です。皆さんには自分自身の成長を振り返りながら将来に向かい、大学生の特権を活かし、幅広い学びをしてみたいと思います。その一つとして新しく開設された国際コースでは、将来アジアや諸外国で活躍する研究者や実践家の育成を目指して、海外の高校や大学等で学ぶ機会が提供されています。この他、教育を取り巻く人文社会科学の更なる学びには「文系4学部副専攻プログラム」が、学際的な協働研究には知のフロンティアとしての「人社会協働研究・教育コモンズ」が皆さんを応援します。

教育学部は一人一人へのきめ細かい専門指導を行います。様々な行事や授業を通じて、積極的に教員であり研究者でもある先生方と身近に接して多くのことを学んでほしいと思っております。

理学部長



和田 裕文  
わた ひろふみ

【専門分野】  
磁性物理学

考える力を養う

新入生の皆さん、九州大学へのご入学おめでとうございます。理学部を代表して心よりお祝いを申し上げます。

皆さんはこれから大学でいろいろな科目を学ぶことと思いますが、大切なことは考える力を養うということです。社会が九州大学の卒業生に期待することは考える能力です。大学初年次の理系基礎科目は一見専門分野と関係がないように見えますが、それは頭脳を鍛える場として捉えてほしいと思います。

大学の研究では未解決の問題に取り組むので、どのように考えていくかという筋道が重要になります。同じ問題でも異なる角度から考えることによって新しい発見が得られます。これは考えることに楽しみを与えてくれます。ぜひ若いうちから考える習慣を身につけてください。また、大学は批判精神を養う場でもあります。学問に限らず何事も自分で正しいかどうかを判断することが大切です。

いろいろな経験を積んで充実した学生生活を送り、卒業までに人間として大きく成長していただくことを期待しています。

医学部長



北園 孝成  
きたの たかふみ

【専門分野】  
内科学、脳卒中学

医学部へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの医学部への入学を心より歓迎いたします。

医学部には、医学科、生命科学科、保健学科があり、これまで多くの素晴らしい医療人と医学研究者を輩出してきました。

これから皆さんも医学部の一員として、よき医療人、よき医学者を目指して、多くのことを学んでほしいと思います。

伊都キャンパスでの一年間は広い教養を磨く時期であり医の道に進む皆さんにとって人としての幅を広げる大切な時期です。大学生としての勉学のあり方をしっかりと身につけてください。2年生からは病院キャンパスでの専門領域の勉強がスタートします。膨大な医学の知識を身につけるための厳しい時期でもあります。大いに研鑽を積んでほしいと思います。

医の道を歩むためには人間として成長することが不可欠です。それぞれの場面で誠実な心をもって事に臨んでほしいと思います。

志を高くもって有意義な学生生活を送られることを願っています。

工学部長



久枝 良雄  
ひさだ よしお

【専門分野】  
応用化学

Endeavour:  
未来への挑戦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。最新の設備と建物が整った伊都キャンパスへようこそ。

さて、工学は科学をカタチにする学問です。産業革命以来、工学による技術の進歩が、経済をひいては人類の発展を牽引してきました。皆さんの周りにもあるものは、ほとんどが工学分野の技術の結晶です。皆さんには主体的に工学を学び、新たな技術を開発することに挑戦して欲しいと思います。

また、工学は世界に散見されるエネルギーや環境などのさまざまな問題を解決する鍵となる学問です。問題意識を高めて、技術がどのように世界に貢献できるかを、常に考えて欲しいと思います。

工学は世界全体を視野に入れた学問です。世界と協力・競争しなければいけません。夏休みや春休みを利用して工学部学生向けの海外学生派遣・研修プログラムも実施しています。グローバルな人材となるために、この機会を是非活用してください。

失敗を恐れず、挑戦し続けることが重要です。皆さんのこれからの研鑽を期待します。

歯学部長



中村 誠司  
なかむら せいじ

【専門分野】  
口腔外科学

高い志を持って、大学生活を  
楽しみましょう！

新入生の皆さん、歯学部へのご入学おめでとうございます。意欲と希望に満ち溢れていることと思います。皆さんを心から歓迎いたします。

歯学部は、基本的には歯科医師を養成することを目的としていますが、さらに本学は歯科医療や歯科医学、さらには幅広く生命科学の教育・研究におけるリーダーとして国内外で活躍でき、高い専門性と国際性を有した人材の育成を目指しています。皆さんは高い志を持ち、探求心やチャレンジ精神を旺盛にして、アクティブ・ラーナーとして勉学に励み、自分自身の輝かしい未来の礎を築いてほしいと願っています。

その一方で、大学生活では幅広く豊かな人間性や社会性を身に付けることも大切です。大学では多くの友人、先輩、後輩、そして師と巡り合うと思いますが、サークル活動にも積極的に参加し、さらに視野を広げて社会とも積極的に触れ合ってください。よく学び、よく遊び、大学生活を楽しんで、充実したものにしてください。

芸術工学部長



谷 正和  
たに まさかず

【専門分野】  
文化人類学

芸術工学へようこそ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「芸術工学」は、科学技術と人間の最も自由な発現である芸術を融合させた学問分野であり、芸術工学部は「一貫して「技術の人間化」を理念に掲げ、技術を人間生活に適切に利用するための道筋を設計する」高次のデザイナー」を養成してきました。

今年度、芸術工学の一層の飛躍のための「パージョンアップ」として、学部改組を実施しました。皆さんはその新しい芸術工学部の第一期生となります。新しいカリキュラムは、すべての学生がその興味を伸ばさせ能力を存分に発揮できるように構成され、それを通じてデザインで未来を拓く人材の育成を目指しています。将来「芸術工学100年」を迎えたとき、芸術工学にはどのような未来が待っているでしょうか。それは皆さんを含む芸術工学にかかわる全ての人にかかっているといます。夢を持ち、チャレンジ精神旺盛な皆さんの芸術工学への参加を心から歓迎します。

薬学部長



大戸 茂弘  
おおと しげひろ

【専門分野】  
時間薬理学

九州大学独自の  
薬の専門家を目指して

新入生の皆さん、九州大学薬学部へのご入学、誠におめでとうございます。

薬学部は、これまで薬の研究と生産、そして医療の分野で活躍する産学官のリーダーを養成してきました。

1年次の伊都キャンパスでの基礎教育では、学部を超えて教員と学生が一堂に会して学習できる総合大学の特色に満ち溢れ、薬づくりの新たな発想が醸成されます。また2年次以降、医療系学部が集結する病院キャンパスでは、チーム医療や創薬の連携研究が実践できる最適な環境が整備されています。さらに九州大学薬学部独自の人と地球環境に優しい「グリーンファーマ創薬育業研究」を推進しています。一方、テニス大会やソフトボール大会なども盛んです。これらを通じて、グローバルな社会環境に適応できる強靱な精神力を培ってほしいと思います。

九州大学の推奨するアクティブ・ラーナーとして、常にチャレンジ精神を持って、薬のプロフェッショナルの道に進んでほしいと思います。

農学部長



福田 晋  
ふくだ すすむ

【専門分野】  
食料流通学

チャレンジ精神と  
創造力を磨く！

新入生の皆さん、農学部へのご入学おめでとうございます。

農学部は、昨年創立100周年を迎えました。10月に盛大に記念式典と祝賀会、そして記念の植樹を行いました。皆さんは、新たな百年に向かっての1ページを飾ることにあります。

農学部では、「生命、水、土、森、そして地球から学び得た英知を結集し、人類の財産として次世代へ伝え、人類と地球環境の豊かな共存を目指して、進化する農学を実現する」ことをミッションとして教育・研究を行ってきました。これからは、皆さんがこのミッションのもとに集い、私たち教職員、先輩とともに百年の伝統に新たな歴史を刻みましょう。如何に充実した大学生活を過ごすかは、あなた自身にかかっています。チャレンジ精神と創造力を磨き、多くの先生や友人と交わり、豊かな人間性を身につけるとともに、グローバル社会を支える専門的知識と広い視野を併せもった人材に大きく成長してほしいと願っています。

皆さんの大いなる飛躍を心より期待しています。

吉野彰栄誉教授ノーベル化学賞受賞記念

# 未来を拓く、次代を創る。

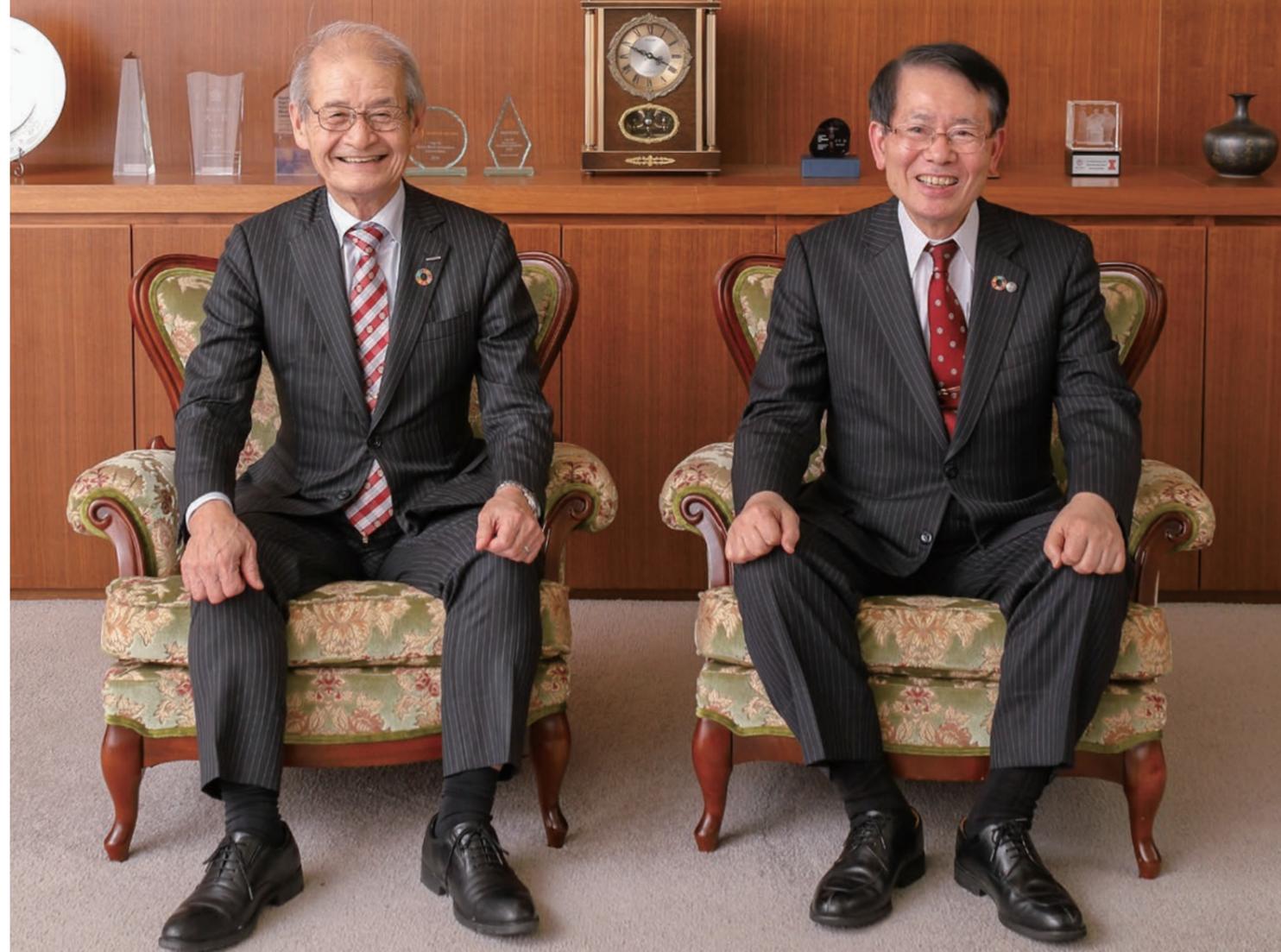
スペシャル対談

九州大学

吉野 彰 栄誉教授

九州大学

久保 千春 総長



2020年1月31日、九州大学伊都キャンパス椎木講堂にて、本学グリーンテクノロジーロジック研究教育センター訪問教授、旭化成株式会社名誉フェローで、2019年ノーベル化学賞受賞者である吉野彰氏の栄誉教授の称号授与式が行われました。また同日、九州大学エネルギーウィーク筑紫シンポジウムにおいて、同氏に「リチウムイオン電池と環境問題」をテーマに講演いただきました。ここでは、講演終了後に行なった久保総長との記念対談の様子を紹介します。この対談は、2020年1月31日、椎木講堂内の特別応接室で行われました。

## 前向きな問題意識が研究を成功に導いた

久保 2019年ノーベル化学賞の受賞おめでとうございます。先生がこれからも本学の栄誉教授として教育研究に携わっていただけることを大変うれしく光栄に思っております。早速ですが、リチウムイオン電池がノーベル賞を受賞するに至った一番の要因はどこにあると思われますか。

吉野 時代の流れの中で幸運な面も多々あったと思います。一番大きかったのはマーケットの立ち上がりです。リチウムイオン電池が世の中に出たのは1990年の初めですが、その時はまだ携帯電話も普及しておらず、しばらく全く売れませんでした。しかし、1995年から世界がIT社会に向かって動き出し、そこからは急激に需要が伸びていきました。時代の巡り合わせも大きかったですね。それと壁にぶつかっても前向きに、問題意識を持って取り組んだのが良かったと思います。

久保 今後、リチウムイオン電池はどのように展開していくと予想され

ていますか。

吉野 大きなターニングポイントは、2025年頃だと思っています。このあたりからリチウムイオン電池に対する要求特性が少しずつ変わってくるはずで、本日の講演で、車をシェアリングすれば個人負担が減るといった話をしました。一方で、シェアリングは稼働率を上げることになりまして、長期の耐久性が要求されます。1人で乗る場合は年間1万キロ走れば良いものも、10人でシェアリングするととなると、10万キロ走れなければなりません。かなり過酷な使用方をすることになるので、リチウムイオン電池は値段よりも耐久性を求められるようになるでしょう。

## 壁にぶつかったら、自らエアポケットをつくる

久保 先生は長年、企業で研究を続けておられますが、大学と企業の基礎研究の違いはあるのでしょうか。

吉野 言葉の上では同じ基礎研究ですが、中身は全然違うものだと思います。いわゆる真理の探求や好奇心に基づいたような研究はアカデ

## リチウムイオン電池の次のターニングポイントは2025年

ミア向きですよ。そこから何か成果が生まれ、可能性がありそうな材料などが見つかる。そこまでが大学の基礎研究です。その後は企業にバトンタッチするわけですが、企業はバトンを受けたところから基礎研究になるのです。真理の探求のような研究は大学、開発や応用研究は企業が得意のように思います。特に応用研究は、世の中の状況で目指すゴールが変わるため、変わるたびに軌道修正しなければなりませんので、企業のほうが向いている気がします。

吉野 望ましいことだと思います。何か大きな成功例が生まれると思いますよ。さらに盛り上がると思いますよ。

久保 ところで先生は、壁にぶつかったとき、どのようにして乗り越えてこられたのですか。

吉野 2通りのパターンがあったと思います。とことん悩み抜いて火事場の馬鹿力で無理矢理アイデアを出し出すパターンと、エアポケットのような時間が取れたとき、ハッとひらめくパターン。私の場合、後者が多かったですね。そのようなエアポケットを自ら作り出すことも大切なのかもしれません。だからというわけではありませんが、私は家では一切仕事の話はしないことにしています。オフの時間を作らないと疲れますからね。

久保 オフはどのような過ごし方をされているのですか。

吉野 毎週土曜日はテニス、日曜日は家でゴロゴロして、精神的にも肉体的にもリラックスするようにしています。他のことはあまりしないので妻には大変感謝しています(笑)。

久保 ご家族のサポートは大事ですね。会社のサポート体制はどのようなになっているのですか。

吉野 研究のステージによって違います。基礎研究は基本的に1人の作業ですから、セルフマネジメントでばいけません。開発研究のようなステージまで行くと、10〜30人くらいの規模になって予算も大きくなりま



栄誉教授称号証を手にする吉野氏と久保総長



九州大学エネルギーウィーク 筑紫シンポジウムノーベル化学賞受賞記念 特別講演会の様子

※1…産官学の垣根を越え、研究者や技術者が公的研究機関や大学、企業など2つ以上の組織で雇用され、研究開発や教育に従事できる制度。



**吉野** 独創的な発想ができて、個性が光る人でしょうね。

**久保** これからどんな人が社会で求められると思われませんか。

**久保** リチウムイオン電池の開発でも、専門外の領域から影響を受けた部分があったのですか。

**久保** そのためには、専門とは違う分野にも幅広くアンテナを張っておくことが大切なのでしょうね。

**久保** 私に興味は囲碁ですが、AIに人間が負けたときは非常に驚きました。今後のAIとの付き合い方についてどのように考えれば良いと思わ

るので、いろいろなサポートが必要になってきます。

**久保** 人数が増えると、マネジメントが大変ではないですか。

**吉野** 私の経験では、以心伝心で分かり合えるのはせいぜい3人です。一番効率的に回る組織体のユニットのような気がします。トップがいて、その下に2人信頼できる人がいる。人が増えたときも、下の2人に同じように2人ずつ信頼できる人を付ければ、トライアングルがつながっていきますよね。情報の共有もスムーズですし、トライアングルごとにしつかり仕事をしてくれば、全体会議を行う必要もないんですよ。

**AIは環境問題解決の強力な武器になるはず**

**久保** 話は変わりますが、今、SDGs (Sustainable Development Goals) が注目されています。持続可能な社会の実現には何が必要だと思われませんか。

**吉野** 基本的にはイノベーションだと思えます。やるべきことは簡単に、環境、利便性、経済性の3つの調和がとれた新しい技術の開発です。異常気象や温暖化などの問題もありますが、環境にやさしい技術は必ず大きな産業を生み出します。そうした流れが見えてきたら、動きは早いと思えますよ。特にAIは、環境問題解決の強力な武器になると思えます。



これからは、  
未来を読む力が  
さらに重要になるでしょう。  
(吉野)

自分と真摯に  
向き合って、個性を  
磨いてほしいと思います。  
(久保)

九州大学  
**吉野 彰** 名誉教授

1948年1月30日生まれ。大阪府吹田市出身。旭化成株式会社名誉フェローで、リチウムイオン電池の発明者の一人として、2019年ノーベル化学賞、文化勲章を受章。2013年九州大学客員教授などを経て、2019年12月から現職。

九州大学  
**久保 千春** 総長

1948年3月9日生まれ。鹿児島市出身。九州大学医学部心療内科に入局後、1981年から2年間のアメリカ合衆国オクラホマ医学研究所勤務などを経て、1993年に九州大学医学部心療内科教授に就任。2008年から6年間九州大学病院長を務めた後、2014年10月から現職。

吉野彰名誉教授ノーベル化学賞受賞記念

特集

スペシャル  
対談  
未来を拓く、  
次代を創る。

# これから世界は変わっていく。若い人たちが一番活躍しやすいとき。

**久保** 個性を磨くためにはどうすれば良いと思われませんか。

**吉野** トレーニングが必要だと思います。研究にこだわらず、日常生活の中で半年くらいで答えが出るような命題を見つけて仮説を立ててみる。その仮説が違っていったらその理由を考える。そこでわかったことは、次の仮説を立てるとき役に立ちます。そうしたトレーニングを続けることが大切だと思いますね。

**久保** 仮説と検証を繰り返すわけですね。私の経験をお話させていただけますと、米国の研究所に勤務していたとき、研究テーマをいくつか考えて上司に持っていったら突き返されたことがあります。「研究室にあるもので何かやろうとするのはダメだ。自分自身が本当に何をやりたいのか考えて、もっと一流の研究を目指しなさい」と上司から言われました。自分が何を研究したいのか、真摯に向き合うことが個性を磨くことにつながるように思います。

**吉野** そうですね。目標の設定が第一に優先されるべきことでしょうね。

**久保** 最後に、九州大学の学生や研究者へメッセージをいただけますでしょうか。

**吉野** これから間違いなく世界は変わっていくと思います。変わり目というのは若い人たちが一番活躍しやすいときです。そうしたチャンスを活かしてほしいですね。

**久保** 本日は本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

**久保** 個性を磨くためにはどうすれば良いと思われませんか。

**吉野** トレーニングが必要だと思います。研究にこだわらず、日常生活の中で半年くらいで答えが出るような命題を見つけて仮説を立ててみる。その仮説が違っていったらその理由を考える。そこでわかったことは、次の仮説を立てるとき役に立ちます。そうしたトレーニングを続けることが大切だと思いますね。

**久保** 仮説と検証を繰り返すわけですね。私の経験をお話させていただけますと、米国の研究所に勤務していたとき、研究テーマをいくつか考えて上司に持っていったら突き返されたことがあります。「研究室にあるもので何かやろうとするのはダメだ。自分自身が本当に何をやりたいのか考えて、もっと一流の研究を目指しなさい」と上司から言われました。自分が何を研究したいのか、真摯に向き合うことが個性を磨くことにつながるように思います。

**吉野** そうですね。目標の設定が第一に優先されるべきことでしょうね。

**久保** 最後に、九州大学の学生や研究者へメッセージをいただけますでしょうか。

**吉野** これから間違いなく世界は変わっていくと思います。変わり目というのは若い人たちが一番活躍しやすいときです。そうしたチャンスを活かしてほしいですね。

**久保** 本日は本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

**久保** 未来に向けて、これからの人材教育に必要なものは何だと思われませんか。

**吉野** 研究はまさに未来志向です。5年、10年先にどんなものが必要とされるかを考えなければなりません。それを間違えると研究の意味がなくなってしまうんです。ですから、これ

**個性を磨くためには、日々、命題を見つけ考え続けること**

**久保** 未来に向けて、これからの人材教育に必要なものは何だと思われませんか。

**吉野** 研究はまさに未来志向です。5年、10年先にどんなものが必要とされるかを考えなければなりません。それを間違えると研究の意味がなくなってしまうんです。ですから、これ





特別講演会  
Report

## 九州大学エネルギーウィーク筑紫シンポジウム ノーベル化学賞受賞記念 吉野 彰 九州大学名誉教授 特別講演会

令和2年1月31日(金)、伊都キャンパス椎木講堂コンサートホールにおいて、九州大学エネルギーウィーク筑紫シンポジウムの特別講演会として、2019年ノーベル化学賞を受賞された吉野彰名誉教授に「リチウムイオン電池と環境問題」をテーマに講演いただきました。会場には学内外から約1,300人の参加がありました。

### 変革はもう始まっている。 次の節目は2025年!

吉野彰名誉教授には、2015年から客員教授や訪問教授としてこれまでも講演いただいておりますが、ノーベル賞受賞後は初めての本学での講演でした。

講演会は、久保総長の挨拶に始まりました。続くグリーンテクノロジー研究教育センター大瀧倫卓センター長の挨拶の中では、吉野彰名誉教授が本学の名誉教授になられた経緯などが紹介されました。

講演で吉野彰名誉教授は、「次の変革、ET (Environment & Energy Technology) 革命が今動き始めている。2025年には非常に大きな技術革新が起き、持続可能な社会の実現を目的に、環境、利便性、経済性が調和する新しい技術が、私たちの生活の中に入ってくるだろう」と話しました。



学生との懇親会の様子。吉野彰名誉教授に贈られたバースデーケーキを食べながら

### 何かやるなら35歳が唯一の機会。 自分に向けて今から投資を

質疑応答では、自身が33歳からリチウムイオン電池の研究を始めたことに触れ、「35歳前後は、周りのことが見えてくるし権限も与えられる。さらに失敗してもリカバリーのチャンスがある。何かやってみようと思うなら、そこが唯一の機会。35歳の自分に向けて今から投資してほしい」と話しました。

また、前日に72歳の誕生日を迎えた吉野彰名誉教授。講演の最後には、サプライズでケーキと花束が贈られました。

講演会終了後には、吉野彰名誉教授と本学の学生による懇親会も行われました。



講演に先立ち、本学から「名誉教授」の称号を授与されました

誕生日を祝ってケーキと花束を贈られる吉野彰名誉教授



# 九州大学エネルギーウィーク 2020を開催!

令和2年1月27日(月)から1月31日(金)の5日間にわたり、「エネルギー分野の英知が垣根を越えて結集 持続可能なエネルギービジョンを共有する」をテーマに、エネルギーに関する一大シンポジウム「九州大学エネルギーウィーク2020」を九州大学エネルギー研究教育機構主催で、本学のエネルギー関連部局が連携して開催しました。



### 「再生可能エネルギー」に 焦点を当てて開催

第4回目となる今回は、「再生可能エネルギー」に焦点を当て、国際機関や国内の団体、企業から著名な演者による招待講演をはじめ、国際共同研究を目的として海外からの学生・若手研究者を招へいし、研究発表を行いました。また、未来のエネルギー研究を担う本学若手研究者や博士課程学生の支援・育成・発掘を目的とした「若手研究者・博士課程学生支援プログラム」採択者によるポスター発表、海外・国内招待者による「持続可能なエネルギービジョンの共有」に関するパネルディスカッションを行いました。最終日には、ノーベル化学賞を受賞された吉野彰名誉教授による特別講演会も開催しました。連日、国内外で活躍している研究者をはじめ、幅広くエネルギー研究を行っている研究者、学生、産業界、行政関係者等多くの方々が講演や研究発表を行い、延べ約2,700名の参加者が来場し、盛会の内に幕を閉じました。

Pick Up!

### パネルディスカッション (プレナリーセッション)について



1月28日(火)のプレナリーセッションでは、ASEANエネルギーセンター、アジア開発銀行、自然エネルギー財団、ハワイ大学マノア校、自然電力(株)などの海外・国内の招待講演者によるパネルディスカッションにて、「アジア-パシフィックの持続可能なエネルギービジョンの共有における“科学の貢献”」について、活発な議論が行われました。

Pick Up!

### 地域循環共生圏 ワークショップについて



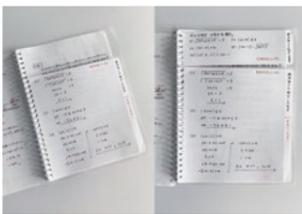
1月27日(月)のプロローグセッションでは、環境とエネルギーに関するワークショップとして、地域循環共生圏の創造に向けた環境省の取組紹介や環境省と連携している九州大学教員による研究講演、および海洋プラスチックサンプルの展示やその研究活動紹介のビデオ放映を行いました。



記者会見の様子(左から宇山さん、平沢さん、寺崎さん、城川さん)

佐賀県の印刷会社である株式会社三光と芸術工学部・芸術工学府の学生たちが共同研究でデザインしたノート3種類が、令和元年11月に行われた福岡県産業デザイン協議会が主催する第21回福岡デザインワードで銀賞を受賞し、高い評価を得ました。このノートシリーズは2017年度グッドデザイン賞を受賞した「学生が勉強しやすいノートシリーズ」の第2弾で、令和2年3月から九州内の多数の大手雑貨量販店を中心に販売されています。在学生の中には、高校時代に第1弾のノートを使って勉強していたと言ってくれる学生たちもいて嬉しく思います。

私たちは災害の増加、生物種の絶滅、新興感染症の拡大、少子高齢化など、多くの社会的課題に直面しており、これらの課題解決への社会的努力をリードできる高度な人材が必要とされています。日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム・オールラウンド型ではこの要請に応えるために、人文・社会・自然科学を統合した大学院教育改革を支援してきました。「九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」は、全国7大学で採択されたオールラウンド型プログラムのひ



1「3mmLEAF3/4」使用例

す。第2弾のノートシリーズによってさらに勉強がしやすくなりますので、これまで以上に多くの方々に使ってもらい、是非九州大学に入学してほしいと思います。  
**3つのデザイン**

## 「学生が考えた学生が勉強しやすいノート」第2弾 芸術工学部女子学生4人が地元企業と 開発したノートが福岡デザインワード入賞、 大手雑貨店など40店で販売へ

芸術工学研究院 准教授  
杉本 美貴 すきもと よしたか

芸術工学府修士1年  
城川 真実 しろかわ まみ

芸術工学部3年  
宇山 明穂 うやま あきほ

芸術工学部3年  
寺崎 薫 てらさき かおる

芸術工学部3年  
平沢 洸 ひらさわ ひかり



記者会見の様子(矢原教授)



九州オープンユニバーシティのSDGsビジョン

## 「みんなの大学」 九州オープンユニバーシティ 会員募集

理学研究院 教授  
九州オープンユニバーシティ 代表理事  
矢原 徹一 やはら てつかず



矢原塾の様子

私たちが取り組んできた現場のひとつに、対馬市があります。対馬市には大学がないため、大学に進学する高校生は島を離れます。その後対馬に戻らずに就職する場合があります。この課題に対して、対馬市では九大を含む諸大学と域学連携事業を進め、対馬に新たな学びの場を創り出す努力を続けています。私たちはこのような地域の取り組みを支援するソーシャリティビジネスを育てたいと考えています。

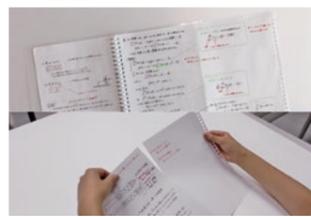


### 代表理事からひとこと

「九州オープンユニバーシティ」の教育の試行として「矢原塾」を開講しています。今回のテーマは「人間の不思議」です。Webサイトに講義資料を順次公開しています。今後このような公開講義を増やしていきます。また持続可能な開発目標を自然・健康・地域・こころの4つに整理し、これらについて調査研究を進めていきます。

問い合わせ先 理学研究院矢原研究室  
TEL: 092-802-4335

Information 九州オープンユニバーシティ  
Webサイト: <https://open-univ.org/>



2「3mmLEAF2/1」使用例

「3mmLEAF2/1」も罫線が3mm間隔のルーズリーフシリーズの新商品で、B5用紙の「2/1」の大きさのルーズリーフです。B4用紙が2つ折りにされた状態(B5サイズ)で販売されていて、広げるとB4サイズで使え、中央の折り目で切り離すと2枚のB5サイズのルーズリーフとして使えます。縦使いすれば古文や漢文がとても書きやすくなります。



3「FILENOTE」使用例

「FILENOTE」は2枚のページの下端がミシン目で閉じられ袋状になっており、毎回の授業で配られるプリントをクリアファイルのように挟んで使え、ミシン目で切り離して通常のノートとしても使える、ファイルとノートが一緒になった全く新しいノートです。プリントを挟んだページにプリントに対応したノートが取れるので復習もしやすくなります。

### 杉本先生からひとこと

企業や自治体との実践的なプロジェクトでは、社会実装して企業や地域に貢献できることに加え、学生にとっても、製品のデザインだけでなく、その良さを伝え切ることの重要性や、1つの商品を作り上げる大変さなど、通常の授業では経験できない多くの学びがあります。これからも学生たちにこのような機会を数多く提供できるように努めたいと思っています。

芸術工学研究院 准教授  
杉本 美貴  
問い合わせ先 TEL: 092-553-4635



記者会見の様子(左から石橋理事・副学長、江内田教授)

大学発で独自開発した医薬品の  
米国承認は国内初の快挙!!

**九州大学で開発した  
眼科手術補助薬が  
米国FDAで薬事承認**

理事・副学長 石橋達朗 いしばしたつろう  
佐賀大学眼科教授 江内田寛 えないだひろし



平成16年に九州大学眼科  
学教室の研究グループ「石橋  
達朗教授(当時)、江内田寛  
助教(当時)、久富智朗助教

めて重要で、安全に行う上で極  
眼科手術補助薬の  
開発と実用化

目の重要性は、外部情報の  
約8割が目から入ることか  
ら明らかで、目の機能が低  
下すると日常生活の質は大  
きく下がります。糖尿病網  
膜症や黄斑円孔などの網膜  
の異常に対して、眼科手術の  
ひとつである硝子体手術が  
行われますが、この手術の際、  
内境界膜の剥離が必要な場  
合があります。内境界膜と  
は、網膜の硝子体側に存在す  
る無色透明で、厚さ0.  
002mmという極めて薄い膜  
で、剥離には非常に高度な技  
術を必要とします。内境界  
膜を染色し視認性を確保す  
ることは、緻密で繊細な術中  
操作を安全に行う上で極



石橋理事・副学長  
からひとこと

九州大学が独自で研究開発  
した薬剤が、世界市場でデフ  
クトスタンダード(事実上の標準)  
として世界中の患者さんや医療に貢献出来る  
事が証明され、後続の研究が世に出るための  
道筋がつけられたと考えています。日本の大学  
における研究環境の現状は欧米と比べて、必  
ずしも満足のいくものではないと考えますが、  
今回の事例が大学の使命としての研究成果の  
社会還元の一つとして認識され、結果として研究  
開発に携わる研究者への理解が進み、より  
良い環境整備に繋がればと期待します。

九州大学病院ARO  
次世代医療センター 豊崎佳代  
TEL: 092-642-6290



庚寅銘大刀の銘文



上/記者会見の様子(宮本副学長) 下/レプリカ完成披露式典の様子

平成31年3月に、こ  
の庚寅銘大刀が国の重  
要文化財に指定され  
ました。それを記念し  
て、庚寅銘大刀の歴史  
的な重要性と価値につ  
いて学内外に広く周知  
するため、本学におい

たい庚寅の年の一月六  
日の庚寅の日に約十二  
回鉄を鍛えてこの刀を  
つくった」という意味を  
成しており、暦を表す  
干支から元嘉暦によっ  
て西暦570年に作  
られたものであること  
が判明しました。『日  
本書紀』によれば、元  
嘉暦は554年に朝  
鮮半島の百濟からも  
たらされた我が国最  
古の暦です。当時の日  
本で暦が実際に使われ  
ていたことを示す資料  
として考古学、古代史  
上の重要な発見と評  
価されています。



宮本副学長から  
ひとこと

本物と変わらない精巧  
なレプリカを製作するこ  
とができ、金象嵌の銘文の輝きに  
感動しました。石ヶ原古墳跡展望  
展示室の新たな宝となってくれる  
と思います。展望展示室には英文  
解説パネルを併置しましたので、  
海外からの来学者にも、キャン  
パスの近代的な建物群とともにキャン  
パスの歴史的な景観をみてい  
ただけます。

総務部地域連携課  
TEL: 092-802-2447

伊都キャンパス内で出土  
「庚寅銘大刀」の復元品  
九州大学に常設展示へ

平成23年9月に伊都キャン  
パス農場予定地内で、7世  
紀前半と考えられるG6号  
墳から庚寅銘大刀が出土し  
ました。長さ74cmの鉄製大刀  
の背部分には、金象嵌で「大  
歳庚寅正月六日庚寅日時作  
刀凡十二果」の銘文が刻  
まれています。銘文は、「めで

てレプリカを製作し、石ヶ原  
古墳跡展望展示室に常設展  
示することとしました。  
奈良の正倉院には、日本最  
古の戸籍である大宝2  
(702)年の「筑前国嶋郡  
川辺里戸籍」が残されていま  
す。その戸籍は「大領肥君猪  
手二族のものであり、川辺里  
が糸島半島のどこにあるか  
が古くから学界の謎となつて  
いました。伊都キャンパス内  
には7〜8世紀の官衙遺構、  
倉庫群など多くの古代の遺  
跡が存在し、それらの遺跡か  
ら川辺里がここに存在して  
いた可能性が考えられてい  
ます。庚寅銘大刀という当  
時でも貴重な大刀が副葬さ  
れたG6号墳の被葬者は、  
大領肥君猪手の直接の祖先  
である可能性が高いといえ  
ます。

Information

レプリカの常設展示について  
庚寅銘大刀レプリカ公開情報(石ヶ原古墳跡展望展示室:イースト1号館9階)  
公開開始日:令和2年3月2日(月)~  
公開日程:毎週火曜及び木曜(平日のみ)午前10時~午後4時  
団体の見学については、「Big Orange(ビッグオレンジ)-九州大学情報発信拠点-」  
のホームページからお申し込みください。  
URL: <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/facility/bigorange/>

## TOPICS 01

### 久留米市と連携協力に関する協定を締結

2020年2月5日(水)、本学と久留米市は、久留米市役所本庁舎において、本学から久保総長、井上理事・副学長、内藤理事・事務局長および清廣総務部長、久留米市からは大久保市長、中島副市長、森副市長および吉田商工観光労働部長が出席し、連携協力協定を締結しました。

今回の連携協力協定は、本学が有する知的・人的資源と久留米市の地域資源を有機的に結びつけ、産業振興、地域課題の解決、研究活動、地域社会の振興などに寄与することを目的としています。

本学と久留米市は、従前から官学連携の取組を活発に進めており、特に久留米

市へのバイオ関連産業の集積を目指す「福岡バイオバレープロジェクト」においては、「核酸を活用した創薬」および「機能性表示食品の開発」を柱に連携を深めてきました。その結果、様々な成果が生まれています。

今後も、本学と久留米市が有する資源の相互活用、交流の推進、また双方での人材の育成など、さらなる連携協力の強化によって、より一層の産業振

興や地域課題の解決に向けて取り組んでいく予定です。



協定書を取り交わす久保総長(左)と大久保久留米市長

## TOPICS 02

### 「Urban Thinkers Campus Forum」を開催

2019年12月19日(木)および20日(金)に、本学伊都キャンパスイースト1号館で「Urban Thinkers Campus Forum」を行いました。

本イベントは、国連ハビタットが提唱している「SDGs 11 - 住み続けられるまちづくり」に関する課題を提起・解決するための国際的プラットフォームとなる「Urban Thinkers Campus」の一環として、本学主催並びに本学人間環境研究院が実施機構と認定され、日本で初めて行われました。

1日目は、「Information and urban design and Planning」、「Compact small urban centers along transit」、「Connecting small urban centers」および「Zero Energy Buildings」の4つのテーマごとにワークショップを行ったあと、JR筑肥線沿線の周辺の現地視察を行い、2日目に成果発表を行いました。

フォーラムは、荒殿誠九州大学アジア・オセアニア研究教育機構副機構長(理事・副学長)、尾崎明人間環境学研究院長による挨拶で開会しました。基調講

演としてAnanto Yudono教授(Hasanuddin University)に、「キャンパスと環境との共生」についてお話いただきました。続いて、2日間の各テーマの研究発表が行われ、その統括としてディビガルピティア・プラサンナ准教授(人間環境学研究院 / 九州大学アジア・オセアニア研究教育機構都市クラスター)が発表しました。

フォーラムには、約100名の研究者および学生の参加があり、持続可能な都市づくりのための活発な議論と交流の場となりました。



ワークショップの様子



荒殿誠九州大学アジア・オセアニア研究教育機構副機構長(理事・副学長)による挨拶



基調講演を行うAnanto Yudono教授

## 広報室学生スタッフ紹介

# 学生が発信する九大の今!



フェイスブックで情報発信中!

毎朝新聞記事をクリッピング!

「躍動」ページは学生スタッフの作品です!

### 私達が広報室学生スタッフです!

広報室学生スタッフは、学生の目線と感性により九州大学の情報を収集・発信する学生チームです。様々な学部・学年・国籍の現役九大生が活動しており、皆さんにあまり知られていない九州大学の「今」を伝えられるよう日々、励んでいます。

### 活動内容は?

毎朝、大学に関連する新聞記事を切り抜いて整理する広聴班、「九大広報」の学生サークル紹介ページ「躍動」を作成する広報班、そして今年発足した、Facebookを中心とした情報発信を行うSNS班という3つの班に分かれて活動しています。九大の教職員や学生の活躍をいち早く知ることができ、多くの九大生と知り合える魅力的なお仕事です。

### 今後の活動にご期待ください!

今後も九州大学内外の方々により楽しんでいただける情報発信を行っていきます。特に今年発足したSNS班のFacebookでは、九大の「今」を楽しめる更新を心がけており、気軽にチェックできるので注目です!面白かったらぜひ「いいね!」をお願いします。

九大の魅力を皆さんも一緒に広めていきましょう!

### 私たちが広報室学生スタッフです



- Hao Xiaoyang**(地球統合科学府 博士課程)  
 内村 優太(工学府 修士2年)  
 井元 健太郎(工学府 修士2年)  
 今谷 梨乃(工学府 修士2年)  
 松浦 稜祐(工学府 修士1年)  
 坂元 渚(農学部 4年)  
 財前 祐里香(21世紀プログラム 4年)  
 今谷 智貴(工学部 4年)  
 中原 正太(工学部 4年)  
 岩井 喬也(理学部 3年)  
 陣内 未来(教育学部 3年)  
 ●新メンバー  
 林 萌英(理学府 1年)  
 三重野 収間(工学部 4年)  
 田中 大稀(法学部 3年)  
 重永 日向子(共創学部 3年)  
 田中 茜里(教育学部 3年)  
 谷口 愛実(共創学部 2年)  
 ●卒業メンバー  
 笠原 紀奈(工学府)/原 倅平(工学府)/  
 李 泰衍(工学府 修士1年)/  
 小野 聖文(農学部 4年)/  
 古屋 裕美(農学部 4年)

Facebook 毎週更新しています!  
<https://www.facebook.com/KyushuUniv.student/>



**TOPICS 05** アラブ首長国連邦大学との大学間交流協定調印式

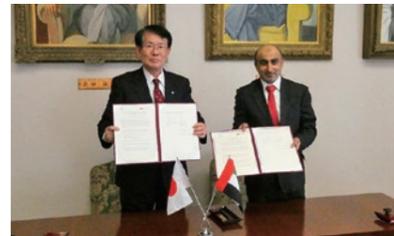
2019年11月25日(月)、本学伊都キャンパスで、本学とアラブ首長国連邦大学との大学間交流協定の調印式を行いました。

調印式には、本学から久保千春総長、渡邊公一郎副理事および稲村次郎特任教授(国際交流推進室)が出席し、アラブ首長国連邦大学からはProf. Ahmed Ali Murad (Dean, College of Science)が出席されました。

本学は、中東・北アフリカ地域から我が国への留学生増加を目指す文部科学省「日本留学海外拠点連携事業(中東・北アフリカ)」に採択され、海外に多くの留学生を送り出しているUAEを優先して取組を行う国の一つとしています。

アラブ首長国連邦大学は、本学として初めてのUAEにおける大学間交流協定校であり、今後は「日本留学海外拠点連携事業」の推進にあたり、同大学と連携して

UAEから本学を含め日本国内の大学・高等教育機関への留学生増加を図ります。



久保千春総長(左)、Prof. Ahmed Ali Murad(右)

**TOPICS 06** 国立台湾大学との研究交流会「NTU-KYUSHU COLLOQUIUM」を開催

2019年12月16日(月)および17日(火)に、本学伊都キャンパスの稲盛ホールにおいて本学と国立台湾大学(以下、NTUという。)との研究交流会「NTU-KYUSHU COLLOQUIUM」(以下、コロキウムという。)を開催しました。これは、本学の大学間協定校であり、本学が台北オフィス置く重要なパートナー機関であるNTUとのさらなる交流を促進することを目的とし、学術上の関心事項や研究教育の交流の可能性について研究者同士が意見交換する場を設けるものです。当日は、森林・日本語・博物館・教育・建築・地球資源・医

療・有機ELなど様々な分野の研究者が一堂に会し、NTUから15名の研究者に加え、学内の教職員、学生を合わせて総勢約50名が参加しました。

コロキウムは、渡邊公一郎副理事(当時)の挨拶で開会し、NTUの周家蓓副学長、そして陳忠正台北駐福岡経済文化弁事処長からの来賓祝辞に続いて、NTUおよび本学研究者による研究紹介、そして、昨年4月に発足したアジア・オセアニア研究教育機構を代表して荒殿誠理事・副学長(副機構長)から機構についての紹介がありました。また、会場をロビーに移して開

催されたポスター・セッションは、学生も加わり、熱い議論が行われました。午後からはそれぞれの分野で分科会を実施し、盛況のうちに幕を閉じました。



集合写真

**TOPICS 07** 理研-九大科学技術ハブ共同研究プログラムキックオフセミナーを開催

2020年1月9日(木)、本学伊都キャンパスの日本ジョナサン・KS・チョイ文化館において「2019年度理研-九大科学技術ハブ共同研究プログラム キックオフセミナー」を開催しました。「理研-九大科学技術ハブ共同研究プログラム」は、本学と理研がマッチングファンド形式で若手研究者の育成を推進する組織的な共同研究プログラムであり、双方機関の40歳未満の若手研究者を共同代表とする共同研究グループに対して支援を行うものです。

キックオフセミナーは、久保千春総長の挨拶で開会し、理研の小寺秀俊理事の挨拶に続き、採択課題の共同代表者による研究紹介が行われました。研究紹介では活発な議論が交わされ、分野を超えた研究プロジェクト間の連携や新たなネットワークの形成に繋がる機会となりました。当日は、理研から17名の参加者に加え、学内の教職員、学生を合わせて計56名が参加し、両機関における研究開発ネットワーク形成を促す一助となりました。セミ

ナー後には情報交換会を開催し、さらなる交流を深めました。



ディスカッションの様子

**TOPICS 03** 研究データ管理および研究インパクト指標に関する国際イベントを開催

2019年12月5日(木)、6日(金)、9日(月)の3日間にわたり、本学附属図書館・大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻共同開催企画として、研究データサービスおよび研究インパクト指標に関するシンポジウム・ワークショップ・セミナーを実施しました。これら一連の企画は、本学とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校との戦略的パートナーシップの一環として、先進的な研究データサービスに取り組んでいるイリノイ大学図書館より3名の講師を招聘して行ったものです。

12月5日(木)のシンポジウム「大学における研究データサービス」では、宮本一夫附属図書館長による開会挨拶の後、イリノイ大学図書館リサーチデータサービス部門長Dr. Heidi Imker氏、同大学工学図書館長William H Mischo氏、同大学図書館化学&物理専門図書館員Mary C Schlembach氏から、図書館の研究データサービス部門におけるサービスや、サブジェクトライブラリアンによる研究者への研究データ支援が紹介されました。

続く12月6日(金)には、前日のシンポジウムをふまえた内容のワークショップを

開催しました。

さらに、12月9日(月)のセミナー「研究インパクト指標」では、若山正人理事・副学長(当時)とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校国際関係及グローバル戦略担当副プロボストReitumetse Obakeng Mabokela氏による開会挨拶があり、本学およびイリノイ大学における国際戦略について紹介されました。

参加者は3日間で延べ142名にのぼり、一連のイベントは盛況のうちに幕を閉じました。発表資料および動画の一部は、web上で公開しています。



宮本一夫 附属図書館長による開会挨拶



パネルディスカッションの様子



セミナー「研究インパクト指標」、若山正人理事・副学長(当時)による開会挨拶

**TOPICS 04** 英語即興ディベート世界大会で本学学生が活躍

2019年12月28日(土)から、2020年1月3日(金)まで、「World Universities Debating Championship(WUDC) 2020」がタイのAssumption Universityで開催され、本学からは、共創学部2年の渋谷美優さんと理学部3年の木浦和哉さんが「Kyushu A」、工学部修士2年のKhac Hungさんと昨年10月に農学部を卒業したSenran Taoさんが「Kyushu B」、並びに理学部2年の岸本隼弥さんがジャッジとして参加し、英語を外国語とするEnglish as a Foreign Language (EFL)部門で「Kyushu B」が準優勝という成績を収めました。

WUDCは、Oxford大学、Harvard大学をはじめ世界各国からディベーター、ジャッジが

集まって行われる英語即興ディベートの世界最大の大会です。第40回を迎える今大会では、349チーム、289人のジャッジが参加し、全体で予選9試合ずつを行った結果、「Kyushu B」はEFL部門7位で本選進出を果たしました。続く準決勝に勝利し、決勝に進みまし

が、惜しくも敗れ、準優勝となりました。

日本からは、東京大学、京都大学、大阪大学など12大学から13チームが参加し、本選に進んだのは「Kyushu B」を含め2チームのみで、本年は本学のディベート活動の更なる活躍が期待されます。



決勝戦に臨む様子



WUDCに参加した九州大学のチームとジャッジ

受賞のお知らせ

日本学士院会員

日本学士院は、学術上功績顕著な科学者を顕彰するための機関として文部科学省に設置されており、学術の発展に寄与するための必要な事業を行うことを目的としています。会員は学術上功績が極めて大きい科学者から選出される特別職の国家公務員です。

**笹月 健彦** 高等研究院 特別主幹教授

ナイスステップな研究者

文部科学省科学技術・学術政策研究所が、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍し、日本に元気を与えてくれる研究者を「ナイスステップな研究者」として選定しているもので、2019年の研究者として科学技術イノベーションの発展に顕著な貢献が評価されて選ばれたものです。

**楊井 伸浩** 工学研究院 准教授

**Lyth Stephen**

エネルギー研究教育機構 准教授 兼 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻 准教授

友好勲章

本学生物資源環境科学府で、長年、多数のベトナム人留学生を受け入れ、その教育に尽力してきたことや、共同プロジェクトなどを通してベトナムの農業農村開発に貢献してきたこと、功績が評価され、ベトナムの教育訓練大臣と農業農村開発大臣から友好勲章(The Order of Merit)を受章しました。

**平松 和昭** 農学研究院 教授

第3回日本医療研究開発大賞

我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めることを目的として創設された賞です。

【日本医療研究開発機構 (AMED) 理事長賞】

**山西 陽子** 工学研究院 教授

Highly Cited Researchers 2019

クラリベイト・アナリティクス社が、同社の論文動向分析データベースを用いた独自の分析により選出しているもので、10年以上にわたり高い評価を得ている影響力のある研究者を引用分析により特定し、Web of Scienceの論文データに基づき、論文の被引用数による上位1%論文著者が選出されています。

【クロスフィールド (Cross-Field) 分野】

**竹村 俊彦** 応用力学研究所 主幹教授

**安達 千波矢** 工学研究院 主幹教授

第16回(令和元年度) 日本学士院学術奨励賞

日本学士院が若手研究者を顕彰し、今後の研究を奨励することを目的として平成16年に創設されたものです。受賞者は、日本学術振興会賞受賞者の中から選ばれます。

**松下 智直** 農学研究院 准教授

第16回(令和元年度) 日本学術振興会賞

我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるため、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していくことを目的に、平成16年に創設されたものです。

**池田 史代** 生体防御医学研究所 教授

**佐竹 暁子** 理学研究院 教授

「遺伝子情報に基づいた植物の一斉開花のしくみの説明」

**下地 理則** 人文科学研究院 准教授

「伊良部島方言の記述文法 特にアクセントと統語現象の言語類型論的研究」

**松下 智直** 農学研究院 准教授

「植物の光受容体フィトクロムによる遺伝子発現の多段階制御機構の解明」

**馬奈木 俊介** 工学研究院 主幹教授

「豊かさ(持続性)指標の構築に関する研究」

受賞のお知らせ

「福岡市制施行130周年 記念式典」表彰

この式典は、福岡市の発展と円滑な運営実施に尽力され、特にその功績が認められる方を表彰するもので、市勢の発展のため福岡市の行政に多大の貢献をされ、他の範となる7つの団体と、201名が個人表彰を授けられました。

【個人表彰】

**安浦 寛人** 理事・副学長

・地方自治の振興に尽くされた功績

**村上 裕章** 法学研究院 教授

・地方自治の振興に尽くされた功績

**杉原 真司** アイソトープ統合安全管理センター 准教授

・消防・防災事業に尽くされた功績

**針塚 進** 九州大学名誉教授(人環)

・地方自治の振興に尽くされた功績

**森田 昌嗣** 九州大学名誉教授(芸工)

・地域社会の発展向上に尽くされた功績

**竹下 輝和** 九州大学名誉教授(人環)

・都市計画づくりの推進に尽くされた功績

**楠田 哲也** 九州大学名誉教授(工)

・自然環境の保全に尽くされた功績

**藤本 一壽** 九州大学名誉教授(人環)

・自然環境の保全に尽くされた功績

**有馬 學** 九州大学名誉教授(比文)

・教育の振興に尽くされた功績

**菊竹 淳一** 九州大学名誉教授(人文)

・文化財の保全に尽くされた功績

2019年度優秀学生顕彰

独立行政法人日本学生支援機構が、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生および生徒を顕彰するもので、奨励・支援することにより、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的としています。

【学術分野・大賞】

**金谷 啓之** 理学部生物学科 4年生(受賞当時)

清華大学シュワルツマン スカラーズプログラム (全額奨学金付修士プログラム)

未来のリーダー育成のために米国ブラックストン・ケルIP創設者シュワルツマン氏の寄付により中国の清華大学に2016年から創設された1年間の全額奨学金付きの修士課程プログラムです。

**佐々木 彩乃** 法学部 4年生 (選出当時)

第15回九州大学伊藤賞

故伊藤早苗名誉教授(前理事・副学長)の名を冠した賞で、本学と英国物理学会出版が共催し、ヨーロッパ物理学会(プラズマ物理分科会)に設立したもの。プラズマ中の乱流や輸送、閉じ込め物理の研究に関して優れた成果を発表した博士課程大学院生を表彰し、本学に招へいして講演や共同研究の機会を提供するものです。

**Ullmann Til**

シュトゥットガルト大学、博士課程在学

第20回グリーン購入大賞

グリーン購入ネットワーク(GPN)が主催し、商品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入するグリーン購入の普及・拡大に取り組み団体を表彰する制度で、1998年に創設されました。

**九州大学**

「九州地区国立大学法人等における高圧及び低圧電力の共同調達」

九州地区では、2018年から本学が取りまとめ校となり、九州地区の国立大学法人、高等専門学校協力のもと、全国で初めて「電力の共同調達」を実施しました。

これにより、多数の電力契約の入札が実施可能となったため、電力小売入札市場の活性化、グリーン契約の拡大に寄与し、併せて経費削減・事務手続きの効率化を達成したことが高く評価されました。

【「環境大臣賞」・「大賞」】

**九州大学**

「九州地区国立大学法人等における高圧及び低圧電力の共同調達」

九州地区では、2018年から本学が取りまとめ校となり、九州地区の国立大学法人、高等専門学校の協力のもと、全国で初めて「電力の共同調達」を実施しました。

これにより、多数の電力契約の入札が実施可能となったため、電力小売入札市場の活性化、グリーン契約の拡大に寄与し、併せて経費削減・事務手続きの効率化を達成したことが高く評価されました。



# 同窓会に行こう

九州大学同窓会連合会は、部局同窓会と地域同窓会の連合体組織として、同窓会の横断的な活動や組織作りを支援し、同窓生相互の交流と親睦を深めるとともに、九州大学と同窓生の情報交換や連携協力を緊密にし、九州大学の発展と学術の振興に貢献することを目的として活動しています。

## 会員同窓会からのお知らせ

**在仙九大会** 〈連絡先〉 事務局 池澤紀幸  
Email:norio42195@yahoo.co.jp

仙台に家を構えている方から、単身赴任の方まで、また、様々な年齢層のOB・OGの方々が集まります。毎年9月9日には懇親会を行います。昨年は、2月に水族館及びバックヤードの見学も致しました。仙台で九大出身者が集まることはなかなかありませんので、お気軽にご参加ください。

**東京同窓会** 〈連絡先〉 事務局  
Tel: 03-3211-8825  
Email:kyudaitokyo@gmail.com

後輩在校生の為の就活支援(OBOG訪問や就職セミナーの開催)、若手同窓生のための勉強会「学び舎」、同窓生間の大親睦会Summer Festaの3つを軸に活動しています。上京後は是非この輪に飛び込み人脈を駆け首都圏での生活を充実させて下さい。お待ちしております。

**東海九大会** 〈連絡先〉 幹事長 時高豊彦  
Email:tokitaka@mb.ccnw.ne.jp

愛知県・岐阜県・三重県を中心とした全学部の同窓会です。本年は10月30日(金)18時より刈谷市のデンソー「ディースクエア」にて九州大学カーボンニュートラルエネルギー国際研究所高橋幸奈准教授をお招きして開催いたします。

**関西同窓会** 〈連絡先〉 事務局  
Tel: 06-4797-6280 Fax: 06-4797-6281  
Email:doso-kansai@jimu.kyushu-u.ac.jp

講演会(公開講座)と懇親会(新年賀詞交歓会と夏のビアパーティー)を予定。開催会毎に参加費を頂戴する方式。直近年度卒業生の方は無料。会長は京阪神ビルディング会長の中野さん。関西経済界の主要企業の役員経験者など、多くの先輩と直接お話ができる貴重な場です。

同窓会の開催情報はこちらへ!

九州大学同窓会連合会ウェブサイト  
<http://doso-rengo.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学同窓会連合会

検索



## Kyudai Alumni Association

## 同窓会だより



眞正義福岡同窓会  
会長ご挨拶



玉上見文部科学省  
審議官ご挨拶



有川節夫前総長  
乾杯のご発声



櫻井龍子東京同窓会  
会長ご挨拶



会場の様子

今回は「ホームカミングデー」に合わせて開催しています。今回の「ホームカミングデー」は、平成18(2006)年度から実施してきたもので、平成28(2016)年度からは「九州大学アカデミックフェスティバル」と合わせて開催しています。今年度は、清廣総務部長が「ホームカミングデー交歓会」を開催しました。

交歓会では、清廣総務部長が「ホームカミングデー交歓会」を開催しました。交歓会では、清廣総務部長が「ホームカミングデー交歓会」を開催しました。

### 総務部同窓生・基金課同窓生連携係

〈連絡先〉 TEL:092-802-2156 〈関連webサイト〉 [https://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic\\_festival/index.php](https://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic_festival/index.php)

## ホームカミングデー交歓会

令和元(2019)年10月19日(土)、九州大学伊都キャンパス榎木講堂2階北ホワイエにて、ホームカミングデー交歓会を開催しました。

「ホームカミングデー交歓会」は、平成18(2006)年度から実施してきたもので、平成28(2016)年度からは「九州大学アカデミックフェスティバル」と合わせて開催しています。

交歓会では、清廣総務部長が「ホームカミングデー交歓会」を開催しました。交歓会では、清廣総務部長が「ホームカミングデー交歓会」を開催しました。

## 九大会員の皆様へ ~特典のご案内~



### 紳士服のフタタ/FUTATA THE FLAG/SUIT SELECT/DIFFERENCE

**会員特典** 商品代金の総額から**10%割引**  
**特典有効範囲** 九大会員本人及びそのご家族

利用条件と注意事項 ※会計時、特典利用の旨を伝え、九大会員証をご提示ください。※その他の割引券、割引特典などと併用可



### はるやま/P.S.FA/大きいサイズの店フォーエル

**会員特典** ●はるやま、P.S.FA……店頭価格から、さらに**10%割引**  
●フォーエル……店頭価格から、さらに**5%割引**

**特典有効範囲** 九大会員本人及びそのご家族

利用条件と注意事項 ※会計時、特典利用の旨を伝え、九大会員証をご提示ください。※店頭での割引・一部クーポンと併用可



### 洋服の青山

**会員特典** 店頭表示価格から**10%割引**  
**特典有効範囲** 九大会員本人及びそのご家族

利用条件と注意事項 ※初回来店時、特典利用の旨を伝え、九大会員証を提示し、メンバーズカードの申込みが必要となります。※店内での割引・一部クーポンと併用可



### イリスロード伊都商店連合会(福岡県糸島市前原中央)

#### 会員特典

- MACARONI(飲食店) 092-324-3332  
お会計金額より**10%オフ**  
パーティーコース利用時、お一人様につき**500円引き**
- 焼とり無吉鳥(飲食店) 092-321-2218  
女将セットご注文の方に、**小鉢またはハイボールをサービス**
- 村島蒲鉾店(食材店) 092-322-2010  
1,000円以上お買上げの方に、**練り物(天ぷら等)をサービス**
- 長浜ラーメン みっちゃん(飲食店) 092-331-8600  
ラーメン、定食又はランチをご注文の方に、**替玉1玉又は餃子1皿をサービス**
- 居酒屋らしく(飲食店) 092-332-2559  
飲み放題付きコースをご利用時、**飲み放題30分延長(通常1,000円)を無料サービス**
- スナック えみ(飲食店) 092-323-1622  
**ビール1杯サービス**



特典有効範囲等の  
詳細はこちら

- らーめん酒場 まる五(飲食店) 092-321-2050  
お会計金額より**10%オフ**
- 麵Cafe ぱくぱく(飲食店・物販) 092-323-5808  
ご飲食代金より**10%オフ**  
ゆめいろ舎ハンドメイド作品お買上げ金額から**10%オフ**
- 花や マルヒデ(生花店) 092-323-2660  
生花・鉢物の販売価格から**5%オフ**
- Drawer of Hair(美容院) 092-324-8365  
お会計金額より**10%オフ**(初回利用)  
お会計金額より**5%オフ**(2回目以降の利用)
- 美容室プレジール(美容院) 092-322-5400  
お会計金額より**10%オフ**
- エレガンス山下(衣料品店) 092-322-0151  
お会計金額より**5%オフ**



### 前原名店街(福岡県糸島市前原中央)

#### 会員特典

- 角屋食堂(飲食店) 092-322-2214  
ごはん大盛り**1回無料サービス**
- 居酒屋 赤ひげ 前原店(飲食店) 092-324-6330  
お料理又はドリンクご注文の方に、**デザートサービス**
- 焼肉はなふさ(飲食店) 092-323-1087  
お会計金額より**5%オフ**
- Tana Cafe + Coffee Roaster(カフェ) 092-321-2008  
お会計金額より**50円引き**
- よしむら乾物店(食材店) 092-322-1711  
1,000円以上お買上げの方に、**おすすめ商品をサービス**
- 寝具のオサダ(寝具店) 092-322-2997  
お会計金額より**10%オフ**
- 呉服のオサダ(呉服・生地店) 092-322-2201  
〈夏期〉浴衣着付け料 お一人様1,500円→**800円**



特典有効範囲等の  
詳細はこちら

- オサダ靴店(靴・履物店) 092-322-2240  
お会計金額より**10%オフ**(現金払いの場合)  
お会計金額より**5%オフ**(カード払いの場合)
- モーダ・マスダ(衣料品店) 092-322-5215  
お会計金額より**10%オフ**
- PLAISIR(生花店) 092-321-0036  
お会計金額より**5%オフ**
- 光文堂楽器(音楽教室・楽器店) 092-322-3132  
音楽教室入学金を**無料**
- 糸島くらし×ここのき(雑貨店) 092-321-1020  
商品お買上げの方に、**「糸島杉の端材」1個プレゼント**
- おもちゃの由比(玩具店) 092-322-2386  
玩具購入金額より**5%オフ**

九大会員特典の内容や料金は、予告なく変更になる場合がございますので予めご了承ください。

各特典については、ご利用条件などをご確認のうえご利用ください。このほかにも多くの特典をご用意していますので、ぜひご入会いただけますようお願い申し上げます。

九州大学基金・  
九大会員に関する  
お問い合わせはこちら

### 九州大学総務部同窓生・基金課

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL:092-802-2150  
E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

### 九州大学基金Webサイト

九州大学基金 検索  
<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>





### ありあけ九大会 第23回定期総会・講演会・懇親会開催報告

大牟田・荒尾と周辺市町の卒業生で組織する「ありあけ九大会」は、令和元年11月9日(土)に大牟田市のレストランだいふくで、定期総会・講演会・懇親会を開催しました。

総会では、決算・予算・役員改選を審議。大賀茂功理事(昭和63年経済学部卒)の副会長就任、藏本稔大氏(平成23年理学部卒)の幹事就任を含む全議案が承認されました。講演会では、福山満博副会長(昭和48年農学部卒)に「大川風浪宮と大川の歴史」と題し、千八百年の歴史を誇る大川風浪宮で、古来神事に携わってきた宮乙名(みやおとな)の故事来歴を、興味深く分かり易くお話し頂きました。



総会議事進行の様子



懇親会でのミニコンサート風景

懇親会では、佐々木副学長、筑後地区九大同窓会の福田洋一(副会長、昭和33年経済学部卒)から来賓挨拶をいただき、新入会員熊本孝司氏(平成11年経済学部卒)の紹介、当会連尾金博理事(昭和49年医学部卒)のひとことと続き、乾杯を進めました。

恒例のミニコンサートでは、中尾弘子様、金子亜都子様にフルートとピアノの素敵な音色を会場に響かせて頂き、「松原に」斉唱の伴奏もお願いしました。

例年11月第2土曜日に開催しています。近隣の卒業生の皆様ぜひご参加ください。

ありあけ九大会代表幹事 山田元樹(昭和61年・文学部卒)

〈連絡先〉E-mail:yamada@kyudai.jp 〈関連Webサイト〉https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/83

### 鹿児島同窓会総会・懇親会

令和元年11月16日(土)鹿児島市内サンロイヤルホテルにおいて第2回目の九大鹿児島同窓会総会・懇親会を開催しました。

総会では伊都キャンパスで行われた九大同窓会連合会への参加報告のあと、同時に開催された九大開学記念祭やアカデミックフェスティバル&ホームカミングデーの報告がスライドを交えてありました。特にアカデミックフェスティバルでの高大連携の高校生の意欲的な取り組みについての感想が述べられました。これを支えるのも同窓会の役目であると報告されました。そして議決事項として役員交代、来年の同窓会開催時期を9月に変更等提案事項について承認のあと引き続き懇親会に入りました。有川前総長の来賓のご挨拶に引き続き山縣理事の司会案内のもと九大執行部の丸野理事・副学長、荒殿理事・副学長から九大の新しい取り組みなどが紹介されました。山縣理事からはムービーを交えた報告がなされました。その後祝宴に入りました。乾杯は同窓生最年長(大正13(1924)年生)の川畑平一郎様(昭和23年・医学部卒)のご挨拶と発声で賑やかにスタートしました。歓談なかばで折田悦郎教授(昭和53年・文学部卒)から九大の歴史についての講演を頂きました。同窓



乾杯音頭 川畑平一郎様



同窓会全景

会では温故知新、発展する九大の報告の知新と来し方を懐かしむ楽しみがあつて、同窓生のほとんどが六本松・箱崎での思い出を胸に、卒業してからの心のふるさととして活力の糧になっています。その思いで六本松や箱崎の九大の歴史を探していました。そこで九大の文書館の折田悦郎副館長にその旨相談しました。瓢箪から駒、渡りに船で、折田教授は九大歴史の生き字引であり、長年膨大な歴史資料を整備されておられました。来年退官で鹿児島に帰郷されることでしたが、鹿児島同窓会に一足早く来ていただきました。いい講演だったと参加者からも絶賛されました。「このやり方は同窓会のひな型になる。」とのお言葉を有川前総長からもいただきました。本年は会場の都合で19時開催と遅いスタートだったことや、学会などのイベントが重なり、昨年の半分ほどの参加者でしたが、少ないお互いのコミュニケーションは活発で多才の九大パワーを感じることが出来ました。最後は全員で学生歌「松原に」を合唱し、2020年9月26日の再会を約束して閉会しました。

鹿児島同窓会幹事長 上村裕一(昭和55年・医学部卒)

〈連絡先〉E-mail:qddousou@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

### 筑後地区九大同窓会

筑後地区九大同窓会では令和元年11月16日(土)ホテルニュープラザ久留米にて令和元年度総会を開催しました。恒例の記念講演では佐々木一成副学長から水素エネルギー研究の現状と将来展望について映像と実験器具を使って大変分かり易くお話を頂きました。環境に優しいエネルギーとしての水素の重要性や最先端の研究施設の実情など大変勉強になりました。

ご挨拶の中で九大が社会に開かれた大学を目指して人材の育成に努めている現状や企業の人事担当者への評価では九大が総合首位であることなどが紹介され、大変誇りに思いました。



佐々木一成九州大学副学長記念講演

総会では猪山渡会長(昭和59年法)の開会挨拶、ありあけ九大会福山満博副会長(昭和48年農)の来賓挨拶に引き続き決算報告、公職者紹介、写真撮影などを行い、懇親会に入りました。筑後地区九大同窓会は久留米市を中心とする筑後地区の九大卒業生が学部を問わず参加しています。当日の出席者は約60名、初めて参加した方たちの自己紹介など世代を超えて活発な楽しい交流が行われ、最後に体育系サークル出身有志の音頭で学生歌「松原に」を全員で大合唱し盛会のうちに終了しました。



集合写真

筑後地区九大同窓会副会長 福田洋一(昭和33年経卒) 〈連絡先〉Email : yfukuda@ktarn.or.jp

### 第8回熊本同窓会

九州大学熊本同窓会(吉田憲史会長・昭和40年・医学部卒)は、令和元年11月9日(土)に、第8回となる総会を開催しました。

当日は、午後5時より市民公開講座を開催し、九州大学大学院人文科学研究院哲学部門准教授エレン・ヴァン・フーテム先生に「海外の研究者から見た日本古代史の魅力」と題して、西洋の研究者の日本に対する関心や業績のご説明や、ベルギー出身の先生が九州大学で研究をされるに至った経緯などについてご講演いただきました。

同講座には、高校生・中学生・その保護者なども30名以



懇親会の様子



市民公開講座の様子

上訪れ、これらの学生たちからも積極的に質問がありました。主な高校、予備校などに同講座告知のパンフレットを配布しており、その効果が表れてきたと思われまます。

その後、午後6時30分からは総会を、午後7時からは懇親会をそれぞれ開催しました。懇親会では、マジックショーやジャズ演奏がされるなど、大いに盛り上がりまます。

今後も会員相互の懇親を深めるとともに、九州大学の名を知らしめるべく、地域に貢献する活動を行っていく所存ですので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

九州大学熊本同窓会 事務局幹事 塚本晃大(平成22年・法学部卒、平成24年・法科大学院修了)

〈連絡先〉熊本市中央区京町1-1-22-602 塚本晃大法律事務所 E-mail:tsukamoto.akihiro@gray.plala.or.jp

記念行事やイベントの情報をお知らせします。

## 令和2年度 開学記念行事を開催

九州大学は5月11日を「本学記念日」とし、例年、開学記念行事を開催しています。今年も以下の通り、開学記念式典および学内施設公開を予定しています。

### 開学記念式典、講演会

- 日 時：令和2年5月11日(月) 10:00~12:00(予定)
- 会 場：伊都キャンパス 椎木講堂コンサートホール
- 次 第：総長挨拶、感謝状贈呈式、講演会 など
- 講演者：磯辺 篤彦 九州大学応用力学研究所 教授

### 学内施設公開

一般の方や中・高校生に、九州大学の最先端の研究内容を知っていただくため、研究施設等を公開します。公開内容、日程等の詳細は、本学Webサイトなどにてお知らせします。

- 日 時：令和2年5月11日(月)を中心に開催
- 会 場：各キャンパス等(伊都、病院、大橋、演習林、博物館)

お問い合わせ

九州大学総務部総務課総務第一係

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL:092-802-2125 E-mail:syssumu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webサイト: <https://www.kyushu-u.ac.jp/>



昨年度の様子(大橋キャンパス)



総合研究博物館



参加者とともに散策(福岡演習林)

## 九州大学アカデミックフェスティバル 2020 2020年9月19日(土)開催決定!



トークショー(※写真は昨年の様子)



交歓会



九大グッズコーナー



伊都キャンパス見学ツアー

【会 場】伊都キャンパス 椎木講堂等(〒819-0395 福岡市西区元岡744)

【お問合せ】総務部同窓生・基金課同窓生連携係 TEL: 092-802-2159

URL: [https://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic\\_festival/](https://kikin.kyushu-u.ac.jp/academic_festival/)

九州大学アカデミックフェスティバル

検索

※各イベントの内容は随時変更されることがありますので、ご了承ください。



※掲載情報は令和2年3月時点のものです。状況により延期等とする場合があります。

九州大学総合研究博物館 [ミュージアムレポート]

Kyushu University Museum

# Museum Report vol.20



写真2: 共益社製の洗炭工場模型  
(縦2800×横1100×高さ1300mm)

かつて、九州帝国大学工科大学が福岡に設立された理由の一つとして、北九州の八幡製鐵所や筑豊の炭田の存在が挙げられます。工学部列品室コレクションの中には、日本の近代製鐵の黎明を記憶する、貴重な標本が残されています。

日本は、古代から採鋳・製鐵の技術が発達し、戦国期〜江戸期を通じて国内各地の金・銀・銅山を開発してきました。一方、明治以降の近代化には、大量の鉄が不可欠であり、1887年の釜石山田中製鐵所に続き、1901年には、官営八幡製鐵所が操業を開始しました。当時、日本には数多くの非鉄金属産山がありましたが、鉄鉱石は、釜石山(岩手)、中小坂山(群馬)くらいしか無く、八幡製鐵所の



写真1: 大冶山産の鉄鉱石

九州大学総合研究博物館の収蔵資料

## 鉄を求めて

(工学部列品室採鋳・冶金学コレクション)

九州大学総合研究博物館 准教授  
中西 哲也

最初の鉄鉱石は、中国湖北省の大冶山産赤鉄鉱(写真1)が使われました。

列品室IIの中ほどには、八幡製鐵所に造られた洗炭工場の模型(写真2)があります。当時八幡では、日本で初めて洗炭機としてバウム・ジグが導入され、コークス原料となる石炭から、不純物や不良炭を除く工程に使われました。また、列品室IIには、八幡製鐵所の明治期



上/写真3: 各地の鉄鉄標本  
下/写真4: 東南アジアの鉄鉄標本

このほか、採鋳学科の木下亀城教授が昭和10年に東南アジアで採取した鉄鉱石標本(写真4)には、マレーシアやタイ産の褐鉄鉱が多く含まれ、戦前の日本が、製鐵原料の確保を重要視していた様子がわかります。

列品室に残る製鐵関連の標本を見ると、日本の製鐵産業の発展の様子が窺える反面、当時鉄資源に乏しかった日本が、大陸や東南アジアに進出せざるを得なかった背景が見えてきます。